

貸借対照表

(2026 年 3 月 31 日 現在)

エイベックス・クラン株式会社

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	1,376	流動負債	1,587
売掛金	1,226	短期借入金	269
商品及び製品	58	未払金	1,132
貯蔵品	0	未払費用	8
未収入金	49	未払法人税等	7
その他	50	賞与引当金	13
貸倒引当金	△ 8	役員賞与引当金	2
固定資産	255	預り金	3
有形固定資産	0	前受金	147
工具器具備品	0	その他	2
投資その他の資産	254	負債合計	1,587
関係会社株式	34	[純資産の部]	
破産更生債権	58	株主資本	44
繰延税金資産	219	資本金	100
その他	1	利益剰余金	△ 55
貸倒引当金	△ 58	繰越利益剰余金	△ 55
		純資産合計	44
資産合計	1,631	負債・純資産合計	1,631

(注) 当期純利益 81百万円

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式…………… 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、製品、貯蔵品…………… 移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価
切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。（ただし1998年4月1日以降に取得した建物
（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降取得した建物附属設備に
ついては定額法によっております。）

なお、耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品…………… 5～6年

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に
より、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、
回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、
換算差額は営業外損益として処理しております。

(2) その他

① 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

② 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。

③ 記載金額が「－」は該当金額がないことを示しております。